

平塚市市民活動推進補助金審査会 令和4年度補助金審査会議 議事録

日 時 令和4年3月12日（土）午後3時40分から午後5時40分まで
場 所 ひらつか市民活動センター 会議室A・B
出席者 藤巻会長、藤井委員、櫻井委員、寺山委員、佐藤委員、横田委員、加藤委員
事務局3名

審議の結果、平塚市市民活動推進補助金審査会委員の総意により、次のとおり各事業の採択・不採択、補助額が決定された。

各事業の審査結果と意見等

【入門コース】

①自分の身は、自分で守る。自主防犯パトロール

（申請団体：ウォッチドッグス）

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	4	4	4	4	20	8万円

[委員からの意見等]

- ・自主防犯パトロールには法的権限がないことを踏まえ、身の安全を第一とし、私的な自警団のような過度な防犯活動にならないように留意した上で、進めてください。
- ・備品は購入する以外に、自治会や地域の防犯組織のものを利用させてもらうことも検討してください。
- ・活動が自治会承知の上で行われているものとなるように調整した上で、進めてください。
- ・3つの地域にまたがる新たな防犯活動として評価します。関係機関と連絡を密にして進めてください。

②こども食堂 ごはんだよ

（申請団体：こども食堂 ごはんだよ）

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	4	3	4	3	18	9万円

[委員からの意見等]

- ・旭地区にとって新たな子ども食堂が開設されることに期待しています。
- ・子ども食堂の開設前には保健所などの関係機関への事前調整をした上で、進めてください。
- ・備品において、プリンターや中古パソコンが必要な理由が不明瞭であった。必要経費の精査をした上で、進めてください。

※特にプリンターは今回の補助事業の経費から除くようにし、例えば、ひらつか市民活動センターの印刷機を利用し、経費の削減を図るなど、別の方法等を検討してください。

③NPO 法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ

(申請団体：農業振興事業（農作業学習農園事業）)

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	4	4	4	3	19	9万円

[委員からの意見等]

- ・乾電池式電柵が必要な理由が不明瞭であった。今後は事業の全体像が明確に伝わるように努めてください。
- ・長期的な視点では、ソーラー式の電柵を導入してもよいのではないのでしょうか。
- ・NPO法人であることを念頭に、事業全体の収支の明確化に努め、他者が分かりやすい書類等を公表できるように進めてください。
- ・法人格を取得していることから、サービスの質により受益者の負担額を見直すなど、収入源の確保を積極的に意識した上で、進めてください。

【発展コース】

①ちいき・子ども食堂

(申請団体：ひばり野のなかま達)

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
5	4	4	4	4	21	22万円

[委員からの意見等]

- ・2つの食堂を掛け持ちするボランティアがいる場合には、過度な負担とならないように留意して進めてください。人員的に可能であれば、それぞれの食堂のボランティアを分けてはどうか。

- ・新規開店ができる団体の体制を評価します。発展的な活動に期待しています。
- ・今後の食育活動では、現場の体験を活かした団体独自の食育活動になることを期待しています。

②はっぴー♡サロン

(申請団体：NPO 法人しえんのまなび舎)

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	4	4	4	4	20	20万円

[委員からの意見等]

- ・講師謝礼が過大であるため、費用対効果を含め経費を見直してください。
※今回の補助事業の経費では、講師謝礼の単価は2万円程度に見直してください。
- ・講師による講義を聞くことが、はっぴーサロンの意義や目的になるのでしょうか。事業目的を団体内で再確認した上で、進めてください。

③0歳からの親子コンサートによる子どもの発達支援事業

(申請団体：あいあいリトミック)

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	3	3	3	3	16	33万円

[委員からの意見等]

- ・講師謝礼が過大であるため、費用対効果を含め経費を見直してください。
- ・外部講師には、市民活動に対する講師であることを理解していただいた上で、謝礼額の交渉をするように努めてください。将来的には、団体会員のみで実施できるものとなることを期待しています。
- ・補助金がない場合においても、継続していける規模の活動であるのかを含め、今後の事業計画を見直してはどうでしょうか。安定的な予算体制が構築できるように事業を組み立てられていくとよいと思います。

④ママぎゅっと「ひらつかママ子育て白書」

(申請団体：ママぎゅっと)

[審査結果]

採択

公益性	発展性	先駆性・創造性	実現性	費用の妥当性	計	補助額
4	4	4	3	3	18	28万円

[委員からの意見等]

- ・事業規模と事業経費が過大であるため、費用対効果を含め事業の内容と経費を見直してください。
- ・定住や移住といった過大な事業目的になっているので、団体の市民活動として身の丈に合った目標に整理してはどうでしょうか。
- ・「白書」とは、一般的に公共機関の刊行物を指すものと考えられるため、市民に分かりやすい名称での発行としてはどうでしょうか。
- ・アンケートを取るプロセスも重要に考え、単に回答のみを求める形での集計方法以外に、直接、声を聞きながら（取材形式で）集計できるようにも進めてほしい。
- ・本事業において、講座を受講したママには、個別に活躍していただく機会になると同時に、継続的に団体の市民活動に参加することを期待しています。